担当　佐藤　昌寿

【第2次　5時間目／全15時間】

（１）本時のねらい

　　　亀田郷の水害の様子について，水害時の様子や水害による影響について調べることを通して，亀田郷の人々は劣悪な環境の中で生活していたことをとらえることができる。

（２）本時の展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 教師の働き掛けと予想される児童の反応 | 資料と留意点 |
| １　木津切れの写真や洪水の回数などの資料から当時の人々のくらしに疑問をもち，学習課題を設定する。  （13分） | T　どのような状況の写真ですか。  C　舟がいるから川かな。でも，後ろに家があるよ。もしかして洪水の時の写真かな。  T　これは木津切れの時の亀田の町の中の写真です。  C　ひどいな。洪水で大変そうだ。  T　亀田郷の洪水の回数と堤防の切れた場所の地図です。どのようなことに気付きますか。  C　信濃川も阿賀野川も小阿賀野川も全部堤防が切れてる。  C　50回以上もある。こんなに洪水が多かったんだ。  C　米作りも大変なのに，洪水も多いなんて。どんなくらしをしていたのかな。  ＜学習課題＞  洪水が起こると，亀田郷の人々はどのようなくらしをしていたのだろう。 | ○パワーポイントを用いて進める。  〇「木津切れの亀田の町の写真」を提示する  〇「わたしたちの政令市新潟」P157の地図を提示する。  ○木津を確認する。  ○前時までの米作りの様子と関係付けさせる。  ○本時の学習課題を考えさせ，隣同士で発表させる。 |
| ２　木津切れの様子から，洪水時の様子について調べる。  （7分） | T　木津切れの時の日記があります。この日記から，どのような状況だったのか調べてみましょう。  C　家の中まで水が入ってきて，箪笥とか流されている。  C　道路が波立っている。川みたいになっているから舟で助けに来ている。  C　90㎝～120㎝ってプールより深い。だから2階に避難しているんだね。  C　田や畑も水にのまれてしまっている。田んぼも深いのに，どうなっちゃうのだろう。 | ○「わたしたちの政令市新潟」P157「大洪水のようす」を提示する。  ○写真や既習事項と関係付けたり，実際の状況を想起させたりする。 |
| ３　佐野藤三郎さんの言葉から，洪水の影響を調べる。  （15分） | T　田が水にのまれるとどうなるのでしょう。洪水と米作りについて佐野藤三郎さんの言葉があります。どのような暮らしをしていたのか，グループでまとめましょう。  C　米がほとんどとれないんだ。だからタニシを食べたりしている。まともな米が食べられなくて「かて飯」を食べていたんだね。  C　洪水に備えて，豊作の時は米を貯蔵している。家の中にまで水が入ってくるし，２階に逃げる位だから，はりの上においているんだね。  C　米作りも大変だったのに，洪水でとれなくなって，もっと大変になっているね。苦しい生活をしている。 | ○「佐野さんの言葉」を提示し，児童に配付する。  〇グループの数だけホワイトボードを用意する。（Ｂ４かＡ３の用紙でも代用可）  〇考えを書き終えたら黒板に貼る。 |
| ４　今日の学習のまとめをし，洪水の様子について振り返る。  （10分） | T　今日の学習をまとめましょう。  ＜まとめ＞  洪水によって家の中まで水が入ってきたり，米がとれなくなったりしてしまう。  T　今日の勉強で初めて分かったこと，友達の考えで「なるほど」と思ったことを書きましょう。 | ○板書からまとめに使うキーワードを見付けさせ，その言葉を使ってまとめをする。 |